

第570号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2016年 9月16日
発行責任者 喬木村公民館長 藤原美穂
編集責任者 公民館編集部 長 仲田久志
印刷 龍共印刷株式会社

第二回 喬木村公民館平和学習会

「無言館」見学

去る八月二十八日、台風十号の影響を受けて曇天の中、参加者総勢三十三名で、上田市の無言館へ向けて出発しました。

道の駅で昼食を済ませ、戦没画学生慰霊美術館「無言館」へ到着しました。

無言館は、第二次世界大戦で没した画学生の慰霊のため、遺作となった絵画、絵の道具、手紙などを集め展示している、作家水上勉さんの息子さんの窪島誠一郎氏が私財を投じて運営されている美術館です。

「無言館」という名は、展示された絵画は何も語らず無言であるけれど見る者に多くを語りかけること、また訪れた者も展示される絵画を見て無言にならざるをえないところから命名されたそうです。

志半ばで亡くなった若者鑑賞券には「口をつぐめ、眸をあけよ 見えぬものを見、きこえぬ声をきくため」と窪島さんの言葉。戦争で若い命を奪うようなことは未来永劫あってはならないと改めて思いました。



無言館にて

ないと改めて思いました。心を残しながら、次の見学場所の前山寺へ... 前山寺は真言宗のお寺です。三重の塔が有名で、建設途中と思われる箇所が見られるので、「未完成の塔」とも「未完成の完成の塔」とも言われ、国の重要文化財に指定されています。

第19回 椋文学夏期講座

椋鳩十文学を、今こそ

講師：児童文学者 中 繁彦氏

去る八月二十一日(日)椋鳩十記念館にて、第十九回「椋文学夏期講座」が開催されました。

児童文学者の中繁彦さんが、「椋鳩十文学を、今こそ」心に鳴りつづける金の鈴！(椋先生)と題して、ご自身が椋文学とどのようなところに関わり、生きてきたかという来し方、

「金の鈴」をキーワードに椋文学の魅力について語ってくれました。はじめに、表題に示された「なぜ、今こそ椋鳩十文学なのか」について、中先生自身が椋鳩十の山窩小説の影響を受けて、処女作「赤石岳の鹿笛」を出版。星野屋のおかみさんとは、家族ぐるみのお付き合いをされていました。そして、椋が亡くなる二週間前に、



講師 中繁彦先生

星野屋に宛てた自筆(エンピツ書き)の手紙を紹介されました。「...星野屋の山肉料理は、特別にうまいもの一つである。特に鹿刺しなどトロの刺身のように分厚いのだ。ときに、「こんなに厚く切つてはもったいないではないか」というと、太ったおかみさんは「何を言うんだ、ここは日本一の山の中だに、都会の料理とは違いますのな。田舎に来たら田舎風の料理をバクバク喰つて行くもんだに」といったような啖呵をきる。(これはさきのばあちゃん、誰であろうとこんなふうには、思つたことはポンポン言う。悪態を平気で言う。いくら悪態をつかれてもお客は腹を立てないどころか、なんとも言わぬ好い気持ちになるのである。これは、このおかみさんが、いつも心をあけつづけているからである。(後略)」

中先生自身も椋鳩十の山窩小説の影響を受けて、処女作「赤石岳の鹿笛」を出版。星野屋のおかみさんとは、家族ぐるみのお付き合いをされていました。そして、椋が亡くなる二週間前に、最後に椋鳩十の亡くなる前日に病床でみと子夫人が口述筆記した「松風の詩」を引いて、椋先生が生涯かけて、心の中に鳴らし続けた鈴の音が、こんなに優しい、温かい詩でもって語られていること、中先生自身が八十歳を越えて老いと向き合い、この椋文学の不思議な魅力というもの、生きている活力のひとつの泉になっていること。そして椋文学にこれからも向き合っていきたいと結びました。

「首なし事件」(警察署における拷問致死事件)が昭

憧れの木製ハウス型プランターと多肉植物を入れました

たかぎガーデニングクラブ 小澤敦子

最近では寄せ植え鉢も多様化して、いろいろな形の鉢やプランターを、園芸店や園芸雑誌、さらにはテレビの園芸番組で目にするようになってきました。

大小の違いこそあれ、普通の丸い鉢に馴染んできたこのごろは、なぜかしら少し変化した額縁型のプランターやハウス型プランターへ憧れが芽生えておりました。

一枚の板から、ハウス型プランターを作り上げる、設計者は手塚講師(夫妻で、クラブ員数人が板への白ペンキ塗りやビス止めを手伝いました。お盆を挟んでの数日の作業で、何とかやり繰りして、遂に完成！八月二十日(土)の開催に間に合いました。

当日、「ハウス型プランター」を目にした皆の驚きと笑顔！再び笑顔!! 出来上がるまでの苦労は吹き飛んで、うれしかったですね。



木製ハウス型プランター

「首なし事件」(警察署における拷問致死事件)が昭

「首なし事件」(警察署における拷問致死事件)が昭

「首なし事件」(警察署における拷問致死事件)が昭

あの時

東京都知事になった小池百合子さんが、築地市場やオリンピックの問題で本格的に活動を始めた。

東京都知事選で小池さんが増田さんと鳥越さんに一〇〇万票近い差を付けて圧勝しましたが、あんなに差が付くとは誰もが思わなかったのではないのでしょうか。

公示直前まで候補者選が難航し、選挙公約やマニフェストもはっきりしないまま選挙戦に突入する様な状態で、都知事選が知名度や人気投票になりがちだという指摘どおり今回もそのしりは免れないのではないかと思います。

東京は世界でも屈指の大都市で、数字から見ても、人口の一三六二二七人(八月)というのは国としても世界で七十三番目のチャドに次ぐ数字であります。

世界の国の数は現在一九六カ国です。国としても七十四番目に人口の多い国となります。

平成28年度 成人式

おめでとう!力強く踏み出せ、明るい未来へ!

八月十五日、平成二十八年度喬木村成人式が防災センターを会場に開催されました。今年度の対象者は六十二名（男性三十一名、女性三十一名）で、その内五十四名の方が出席されました。

式典では、村歌を斉唱した後、市瀬直史村長の式辞があり、来賓を代表して、小澤博村議会議長、市瀬悦孝教育委員長より、それぞれお祝いの言葉をいただき、新成人の皆さんは、成人として気持ち新たにしていきました。

また、新成人代表2名による意見発表では、それぞれが今頑張っていることや、これからの決意等について発表がありました。

午後からは、新成人の皆さんで組織する実行委員会主催による祝宴が行われ、中学校の恩師や友人との久しぶりの再会に、写真を撮影し合ったり、思い出話や近況報告に花が咲き、幾重もの笑顔の輪ができていました。

新たに成人になられた六十二名の皆さんが、それぞれの道で大きく飛躍され、喬木村の将来にとって大きな力となることを期待します。

なお、成人式の開催にあたり、村婦人会の皆さまから成人式参加者全員に手づくりのストラップが贈られました。

式典の中で行われました意見発表等を紹介します。



あきよし
実行委員長
原 智史

此の村のキャッチフレーズでもある、「小さくても光る喬木村。そして美しい喬木村。」こんな喬木村が私は大好きです。

本日は私たちの為に盛大な成人式を開いてくださり、誠にありがとうございます。

村長様を始め恩師の先生方、それぞれのお立場で臨席賜りました皆様、そして村民の皆様、お父さんお母さん、家族の人達。今まで育て見守って下さり誠にありがとうございます。

又、先日の参議院選においては十八歳からの投票が義務付けられ、若者の政治参加が期待され私達も責任を強く感じた一票でした。

さて、私が二十年という短い人生を生きてきた中で感銘を受けたお話がありま

それは「ファイブリッチ」というお話です。ファイブリッチは『五つの豊かさ』という意味です。

一つ目は「ヘルスリッチ」健康の豊かさです。幸せな人生を送るには第一に自身の体をしっかりとケアしなければなりません。自分の体を大切にしてください。

二つ目は「マネーリッチ」お金の豊かさです。中にはお金がなくなつて幸せという人もいます。ですが、これから生きていく中でついでにまわるのがお金の問題です。生きていくだけでもお金は必要で、死ぬまでついでに回る厄介な問題です。お金は重視し大切にしていけるべき存在だと私は思います。お金を軽視している人にお金はいくらあっても足りません。

三つ目は「タイムリッチ」時間の豊かさです。毎月忙しく時間に余裕がない人がいる中、忙しいというのは裏を返せば、すごく幸せな事だと思えます。ですが家族との団欒の時間がなかつたり、友人との親交を深める時間もなくしてはならない時間だと思えます。忙しい中、少しの時間でも大切な人たちにその元氣な姿を見せてあげてください。

四つ目は「ファミリーリッチ」家族・仲間との豊かさです。長い人生の中で一人で生きていくことは極めて困難であり、孤独です。そこで多くの繋がりは望みませんが信頼しあえる仲間を見つけてください。これから人生でどん底に突き落とされる時が来るかもしれない。そこで頼りになつてくれるのが仲間だったり家族です。でも絶対とは限りません。それは信頼の積み重ねで自身で作つていかなければなりません。家族・仲間は最も大切な存在だと私は思います。

最後の五つ目は「マインドリッチ」心の豊かさです。私が読んだ『ファイブリッチ』のお話はこの四つの豊かさを表現して、初めて『マインドリッチ』を得ることが出来ることと記されています。しかしこれらすべてを手に入れることは並たいていの努力では手に入らな



20歳の記念写真

いものだと思えます。私は『マインドリッチ』心の豊かさを手に入れることを人生のミッションとし、日々精進していきたくと思えます。

最後になりましたが、これからの人生山あり谷ありと思えますが、今日此の日の感激を胸に、大人として恥じぬよう生きていきたくと思えます。

人生でたった一度の成人式

桐生悦朗



先祖の魂がこの世に数々と舞い戻り、どこかで見守られていたような穏やかな気持ちになる季節となりました。

本日は私たち新成人のためにこのような盛大な式を催していただき誠にありがとうございます。

成人式を迎えて

下平 優



本日は私達のためにこのような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。

自分の生まれ育った喬木村で共に成長した仲間と今日を迎えることが出来、大変嬉しく思っております。

さて、私は今、横浜・みなとみらいの海を挟んで向かい側のコットンハーバーというこの日を迎えることが出来たのは市瀬村長さんをはじめ、暖かく見守ってくださった地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

病院の一室で父親の付き添いのもと、見守られながら盛大な産声をあげたあの日のことが、つい昨日のことのように思ひ出されます。

私達も早いもので、あの日から二十年の歳月がたち、仕事に命を燃やしている人、学業に魂を費やしている人、どちらにも該当しなくても一生懸命な人など様々です。

さて、私達が生まれ育ったこの村のことを、私はどれくらい知っているのでしょうか。イチゴの品種やベリー&ゴーの名前の由来、阿島傘の作り方など、誰かに聞かれても答える事ができません。

ですが誰よりもこの喬木村を愛する気持ちを持っていると自負しています。

皆も色々な思い出があるはずで、春には学校の校庭の周りに咲き誇る桜の下で五平餅をほおぼり、夏には瀬戸淵や泡淵の濁流に身を任せ、秋には風越山に沈む夕日に照らされ、冬には雪玉をコネるなど、様々な思い出がこの喬木村にあります。

この文章だけでは本当に喬木村を愛しているのか伝わりにくいかもしれませんが、でも本当なのです、本当に愛しているのです。

話は変わりますが、私は今年の四月から下伊那で安定した職につきました。宿題もないし、教授に呼び出されることもありません。「なんて自由なだろう、まるで空でも飛べそうな気分だ」と、ワクワク浮かれていました。しかしそんな楽な人生なんて、ありませんよね。たしかに楽な道を選択することもできますが、もう社会で生きていく身です。

今日は成人式、私達は二十歳です。しかしそれは、三五を一つとして生きた日数を数えたたの数字です。一日一日をどう過ごすか、どう歳を取っていくかは自分次第です。本日の式で新成人という自覚を持ち、気を引き締め、内容の濃い毎日を送りたいと思います。

最後になりましたが、市瀬村長さんをはじめ、地域のみなさん、導いてくださった先生方、なにより育ててくださった親に感謝の意を申し上げます。新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

皆も色々な思い出があるはずで、春には学校の校庭の周りに咲き誇る桜の下で五平餅をほおぼり、夏には瀬戸淵や泡淵の濁流に身を任せ、秋には風越山に沈む夕日に照らされ、冬には雪玉をコネるなど、様々な思い出がこの喬木村にあります。

この文章だけでは本当に喬木村を愛しているのか伝わりにくいかもしれませんが、でも本当なのです、本当に愛しているのです。

話は変わりますが、私は今年の四月から下伊那で安定した職につきました。宿題もないし、教授に呼び出されることもありません。「なんて自由なだろう、まるで空でも飛べそうな気分だ」と、ワクワク浮かれていました。しかしそんな楽な人生なんて、ありませんよね。たしかに楽な道を選択することもできますが、もう社会で生きていく身です。

最後になりましたが、幼き頃から共に過ごした仲間たちと成人式を迎えることができ、喜びのあまり、たいへん目頭が熱くなっております。

そんなかけがえない仲間達、私達を支えてくれた両親や家族、導いてくれた先生方や地域の方々に感謝の意を申し上げます。新成人代表挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

平成28年度 広島平和のバス運行事業報告

～広島平和のバス感想文～

広島平和のバスに参加して

団長 佐藤 博一

原爆投下から七十一年経った広島朝も、快晴の大変暑い朝でした。

一年前、七十一年経過の広島平和祈念式典以降、核兵器廃絶に向けた運動は大きく一歩を踏み出すことができました。それは今年五月に原爆投下国のオバマ米大統領が広島を訪れ、米国を含む核保有国に対し「恐怖の論理から逃れ、核のない世界を追求する勇氣を持たなければならぬ」と訴えたことや、G7が集まった各国外相がやはり広島を訪れ、包括的核実験禁止条約の早期発効や核不拡散条約に基づく核軍縮交渉義務を果たすことを求める宣言



原爆ドーム前にて

私はこの広島平和のバス運行事業に参加するまでは、戦時中広島でどんなことが起こったのか聞いたことがないもの、どこか現実味が感じられていました。私の身のまわりの人でも戦争を体験した方は少ないうえに、原爆を経験した方の話を聞いたことがないため、この事業への参加をきっかけに詳しく知りたいと思っていました。

一日目は原爆ドームと原爆資料館の見学をしました。原爆ドームは教科書やテレビなどで見たことはありましたが、実際自分の目でみると、ここで本当に原爆が落ちてたっくさんの人が犠牲になったんだなと強く実感することができました。原爆資料館には当時その場に居た時計や弁当箱など、軍人さんが着ていた軍服などとともに、原爆の熱線や爆風で曲がったり壊れた鉄筋などの建物の一部も展示されていて、それらを見て一気に恐ろしいという気持ちが生まれてきました。何の罪もない多くの人が、国どうしの争いに巻きこまれて亡くなったたり家族を失ったりしたことは、もう二度とくり返してはいけなと改めて強く考えました。

二日目は平和記念式典に参加しました。朝、会場に行くと、日本人はもちろん外国人の方もとてもたくさん集まっていた。戦時中に広島で起こったほんの一瞬の出来事は、七十一年たった今もその恐ろしさが語り継がれ、全世界の人々に戦争の悲惨さを考えさせてくれているということを感じました。

記念式典で私が一番心に残っていることは、こども代表の二人による「平和への誓い」です。私たちよりも年下の子が、広島を歴史を学び、このようなことが二度とくり返さないようにという強い想いを込めて訴えてくる姿を見て、私は鳥肌がたつくらい感動しました。今まで戦争や平和について、深く考えたことが無かったのですが、ちゃんと自分の考えを伝えられるようにしたいと思います。

これからの社会を創っていく私たちが戦争を体験した方の話を聞ける時間はもう長くありません。しかし、戦争を経験していない世代でも平和を願う気持ちを伝えることはできます。私たちがその気持ちを強くもち、人と人が傷つけあう世界をなくしていきたいです。



原爆の子の像 前にて

広島平和のバスに参加して

喬木中学校三年 木下英利香

中学三年生が占める中で開催されたことです。核兵器を廃絶し、日本のみならず世界に平和な社会を築くためには若い皆さんの力が不可欠です。日本を取り巻く情勢は、北朝鮮の弾道ミサイル発射や、中国の南シナ海諸島占拠・軍事拠点化、ISによる爆弾テロ口拡大など、力による支配を進めようとする勢力の拡大が懸念されています。一方で日米安保体制の要と位置づけられている沖縄では、普天間基地の辺野古移設を巡り政府と県民の対立が激しくなっています。広島市長が訴えた「信頼と対話による安全保障の仕組み」は、どう実現すればよいのでしょうか。これら複雑化する状況を理解し、個人として判断するためには、明治以降

の歴史を学習し現実に繋げる個々の努力が要求されます。選挙の投票年齢も十八歳に引き下げられ、高校生三年生の時点で国政に意見をぶつける権利を得たと同時に、選挙結果に対する責任も負うことになりました。今回の平和のバス参加が、中学三年という多感な時期の貴重な体験として、参加者一人ひとりの心に大きな化学変化を起こしてくれることを期待しています。

広島から帰れば、喬木も暑い夏の毎日です。今年もたかぎふるさと祭りが終戦の日で開催されます。夜空を染める花火を友人や家族と楽しむことができる平和な社会が未永く続くことを例年以上に願いつつ、今年もお盆を迎えます。(平成二十八年八月七日)

私は中学三年生になり、初めて広島の町に訪れまし。私達は今、平和の大切さについて考える機会が多くありません。戦争などの平和でなかった日本を知っている人も、時を重ねていくにつれて、

行くと、日本人はもちろん外国人の方もとてもたくさん集まっていた。戦時中に広島で起こったほんの一瞬の出来事は、七十一年たった今もその恐ろしさが語り継がれ、全世界の人々に戦争の悲惨さを考えさせてくれているということを感じました。

えてくる姿を見て、私は鳥肌がたつくらい感動しました。今まで戦争や平和について、深く考えたことが無かったのですが、ちゃんと自分の考えを伝えられるようにしたいと思います。

戦争や核兵器がない平和な世の中で、人間が自然と共存し、世界中の一人一人に笑顔あふれる日々を送ってもらおうこと、これが私達にできる未来への与えられた使命だと感じました。

私達の使命

喬木中学校三年 瀧 浪 美 沙



出発式 3万羽の折鶴と共に

んは戦争で病気がかり亡くなったそうです。おばあちゃんはこの事を泣きながら話してくれました。それを見て、そんなに戦争とは人をつらく悲しくさせるものなんだと改めて感じました。

なぜ、アメリカの人たちは原爆を落としたのか、それも、落としてから「あれは必要だった」と言うのか、私には考えられません。口では簡単に「戦争はやらない方がよい」と言えるけど、今もまだ世界の国の中で戦争をしている国があります。世界中には、核や爆弾、ミサイルなどたくさん武器があります。

今が平和でいられるという事は過去に戦争という恐ろしい時代があったからです。逆を言うと戦争があったからこそ、二度とあんな事をおこしてはいけないと思ひ、今平和に生活が出来ているのです。

椋鳩十記念館・図書館

「子ども夏まつり」開催

こともあり、多くの子どもたちが来館してイベントを楽しんでくれました。今年四月にネコ館長「ムクニヤン」が就任したこと、ネコブームであることから、館内は「ネコ」にちなんだコーナーもいくつか作りました。

ギャラリー展は「あなたが撮ったネコ写真展」ということで、一般から応募していただいた可愛いネコたちとネコ館長の写真が並びました。

館内の「クイズ！ネコ5！」では、各ポイントのクイズに答えると「戦隊ヒーロー」になったムクニヤンシールをもらえるとお誘い、子どもたちも張り切って挑戦していました。

その他、紙芝居コーナーには「不思議の国のアリス」の世界に入れる撮影ポイントがあり、アリスやトランプの兵隊など登場人物に変身できるように職員手づくり

の衣装を着ることができました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちも、だんだんその気になってポーズをとっていました。

また、毎回行っている「椋鳩十検定」も第六回を数え、今回はゲームブック式にしたのですが、なかなか難しく大苦戦。でも、記念館のヒントを基に頑張っていました。

また社会教育委員、おはなし会、高校生、一般と、たくさんボランティアのご協力も大きな力となりました。



子ども達でにぎわう図書館

たかぎふるさと祭り盆踊り

恒例のたかぎふるさと祭り盆踊りが、八月十五日、養護学校校庭で開催されました。



大勢の方に浴衣で参加いただきました

火が彩る中、たくさん子どもさんたちや、踊り関連の皆さんなどさまざな方に参加いただき、櫓の周りは大きな踊りの輪ができました。

また、子どもさんのかわいい浴衣姿、多くの大人の浴衣美人&浴衣美男が祭りに華を添えてくれました。来年以降もこの盆踊り(蕎

たかぎ短歌会 葉月歌会詠草

何故か今朝の前頭葉は目覚めない庭の紫陽花咲いているのに

モンペはく前掛け姿が亡母に似る媼に会ひて恋しさの増す

我が庭の初成りトマトをもぎ取りて孫はにっこり「ありがとう」といふ

成る程と認めた人生五十年長寿喜ぶ現世は複雑

原爆の悲惨に触るるアメリカの大統領の勇氣忘れず

風に立つ西塔を背に若き僧葉師寺復興を熱く語れり

- 毛涯百合子
- 知久 美子
- 小椋 りよ
- 大倉 知江
- 関島 春子
- 桐原 邦夫

「今着いた」と旅の夫より電話あり一晩なれど夕暮れし

夏の日には百花繚乱あざやかな色ひろがりて緑が誕生映える

軍配は雑草に上がり無念なり二枚の畑の耕作放棄す

トウキョウへいさみ出かけし修学旅行孫はみやげに真つ赤な物入れ

お隣に曾孫の礼野君誕生す六人家族は四世代なり

水分をこまめに摂れと云ひおきて息子は忙しく勤めに行きぬ

夏服に着替えて鏡の前に立つ足腰痛めど背筋伸ばして

夕ぐれて親を待たらし子燕の五つの顔が巣から覗ける

難病と畏友が妻君の計聞きし夜寝つきよき汝の寢息確かむ

- 木下 寿子
- 原 健彦
- 元島 康子
- 市瀬 准子
- 田中 妙子
- 木林 睦枝
- 大村 初見
- 内山 和子
- 福澤 亀人

第67回 盆野球大会開催

祝 ガチリーグ優勝 女王様の欲望。
親睦リーグ優勝 昔はみんな野球部



ガチリーグ優勝 女王様の欲望。



親睦リーグ優勝 昔はみんな野球部

第六十七回盆野球大会が八月十四日、運動公園グラウンドと中学校グラウンドで開催されました。今年度から十四日のみ一日開催となり、二つのリーグを新たに作りました。主に若いチームで構成されるガチリーグと昔から参加してきて主に親睦をメインとする親睦リーグに分かれ、ガチリーグは十チーム、親睦チームは八チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

第67回 喬木村盆野球大会結果表

ガチリーグ										親睦リーグ									
優勝 女王様の欲望。					優勝 昔はみんな野球部														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
7	0	11	9	2	0	10	2	0	0	2	4	11	5	1	14	1	4	1	4
③ 連A	④ 連A	① 連A	② 連A	⑤ 連A	② 連B	④ 連B	③ 連B	① 連B	④ 連B	① 中A	③ 中A	② 中A	⑤ 中A	③ 中B	① 中B	④ 中B	② 中B	① 中B	④ 中B
1 女王様の欲望。	2 煙草が花間達2016夏	3 Amigo	4 クロバ	5 あ	6 田仲造園	7 CAMEL	8 尻が野球塾	9 RED BULL	10 角鹿	11 ダークホース	12 昔はみんな野球部	13 プチトマト	14 アタックス野球倶楽部	15 シーブ&モンキー	16 ベースボールキッズ	17 Dammee's	18 70's	19	20

喬木村駅伝大会 参加申し込みについて

第28回喬木村駅伝大会を10月30日(日)に行います。午前9時に運動公園グラウンドをスタートし、上平トンネル、小川、役場、伊久間、阿島を通り、運動公園までの七区間約15.7kmを回るコースです。

参加資格につきましては、村内に住んでいる方及び村出身者、村内事業所に勤務する方、小学4年生以上の児童・生徒となります。

参加を希望される方は、分館、事業所、学校、友達等でチームを作ってください、10月19日(水)までに教育委員会窓口にあります用紙にてお申込下さい。多くの方のご参加をお待ちしております。

喬木村公民館 電話33-2002

編集後記

九月一日は防災の日で、防災訓練が行われた。今年には台風が上陸したところのない地域に上陸し、多大な被害を与えている。温暖化の影響で今まで経験したことのない程の豪雨、突風が起こる。そんな台風がいつ喬木村を襲うかわからない。

暴れ天竜と名高い天竜川を眺め、どうぞそのまま穏やかな日々が続いて欲しいと願わずにはいられない。